

# 休日の部活動の段階的な地域移行について

岐阜市教育委員会

岐阜市立中学校保護者説明用資料

## 国の動向

所管：運動部活動（スポーツ庁）、文化部活動（文化庁）

### 意義と課題

#### 意義

- スポーツ、文化芸術に親しむ機会の確保
- 自主的・主体的な参加による活動を通じた責任感・連帯感の涵養、自主性の育成
- 人間関係の構築、信頼感・一体感の醸成
- 自己肯定感の向上、問題行動の抑制

#### 課題

- ・少子化による生徒数の減少の加速化（部員数減少によりチームが組めない、部活動数が顧問数を上回る…等）
  - 持続可能という側面からの厳しさ
- ・競技経験のない教員による指導、休日も含めた教員による指導
  - 教員の業務負担
- ・スポーツ団体、指導者等と学校との連携・協働への課題

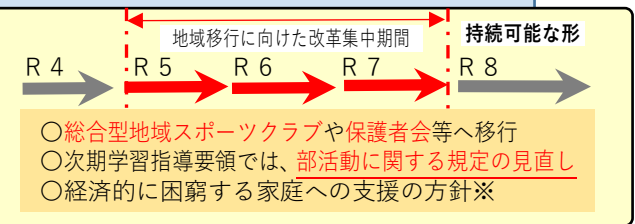
### 目指す姿

## 休日の部活動を「学校単位」から「地域単位」の活動へ

- 少子化の中でも、将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保。このことは、学校の働き方改革を推進し、学校教育の質の向上にもつながる。
- 自発的な参画を通して、楽しさや喜びを感じる事が本質。自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出。
- 地域の持続可能で多様なスポーツ、文化芸術環境を一体的に整備し、子どもたちの多様な体験機会を確保。（団体の組織化、指導者や施設の確保など）

### 改革の方向性

- まずは、休日の部活動から段階的に地域移行していくことを基本
- 令和5年度の開始から令和7年度末の3年間をめど（改革集中期間）
- 地域の実情に応じた休日部活動の地域移行の進捗状況を検証（やがては平日の部活動も地域移行へ）
- 地域におけるスポーツ、文化芸術機会の確保、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実にも着手
- 地域のスポーツ団体等と学校との連携・協働の推進



※部活動は任意の加入であるため、地域移行後はかかる経費について受益者負担が原則

## 岐阜市の方向性（案）

岐阜市の現状における課題は、国の課題と重なり、現状の仕組みで部活動を継続することは困難な状況にある。

### 課題

- ・部活動加入率低下
- ・少子化
- ・競技経験や指導経験のない部活動を顧問

他校と合同部活動  
休・廃部  
■部の選択肢減少  
■専門的な指導ができない。

※現状の仕組みで部活動の継続は困難

